

海水浴場等の入込状況について

本年は梅雨明けが平年より2日早く、天候に恵まれ、波が穏やかな日が長期間続いたが、レジャーの多様化や若者の海離れにより海水浴客が伸び悩んだ。また、毎年混雑するお盆時期の天候不良も入込客数減少の原因となっている。

ただ、県内各地で水難事故が相次ぎ、全県に水難事故防止多発警報が発令されているなかで、牧之原市海水浴場での死亡事故は平成12年以降無事故を継続している。

1 入込状況

(1) 海水浴場入込客数

年 度	合 計	静 波	相 良
平成29年度	昨年度の2割程度減の見込み 8/31閉場式の際、公表予定		
平成28年度	565千人	390千人	175千人
平成27年度	537千人	372千人	165千人

〈減少の要因〉

- ① 夏季期間を通じて、天候や波に恵まれた日が多かったが、毎年混雑が予想されるお盆時期の天候不良による影響で海水浴客が伸び悩んだ。
- ② 都心部で流行している夜間営業の「ナイトプール」など、レジャーの多様化により、若者を中心とした海離れが進んでいる。
- ③ 気温の高い日が続き、暑さを避けようと幅広い世代で夏の休日の過ごし方が変わってきており、インドア志向が高まっている。

(2) 海水浴場市営駐車場駐車台数（*大型・二輪車含む）

年 度	合 計	静 波	相 良
平成29年度	14,103台	10,876台	3,227台
平成28年度	16,055台	12,227台	3,828台
平成27年度	15,474台	11,385台	4,089台

(3) 海水浴場駐車場市民無料利用券利用枚数

年 度	合 計	静 波	相 良
平成29年度	774枚	666枚	108枚
平成28年度	808枚	576枚	232枚
平成27年度	572枚	443枚	129枚